

2012年7月3日

関係各位

公益社団法人 日本写真家協会
会長 田沼武能

フォトキナ2012で、 写真展「生きる」 – Post-TSUNAMI – を展示

公益社団法人日本写真家協会(Japan Professional Photographers Society 略称JPS)は、今年の秋にドイツ・ケルン市で開催される世界最大の映像機器見本市、フォトキナ2012の会場で、写真展「生きる」 – Post-TSUNAMI – を開催します。

当協会は東日本大震災の復興支援事業として、被災後一年を期し、被災地が復興していく様子を私たち写真家の眼で記録し、人々が悲しみを乗り越え逞しく生きていく姿を世に伝えていかなければと考え、写真展と写真集の出版を企画しました。写真展は、震災から一年の節目となる3月11日をはさむ、2012年の3月から東京で、3月末から4月には、被災地の仙台市で仙台展を行い、多くの方々にご覧いただき感慨深い印象を与えました。さらに同名の写真集約500冊を被災地の公立図書館と全国の都道府県立図書館に献本しました。そしてこのたび、「生きる」展を9月のフォトキナ2012の会場でも開催することにしました。

東日本大震災に際して全世界から寄せられたご援助、ご支援、励ましに対する感謝の意をこめ、写真の大ページントであるフォトキナに集う、世界中の人々にこの写真展を見ていただける機会が得られたことに深く感謝します。

◎開催概要

会期：2012年9月18日(火)～23日(日) フォトキナ2012 (主催:ケルンメッセ)

会場：フォトキナ2012会場内・ケルンメッセ内 ホール5.1 (1階)

(ドイツ連邦共和国 ケルン市)

主催：公益社団法人日本写真家協会

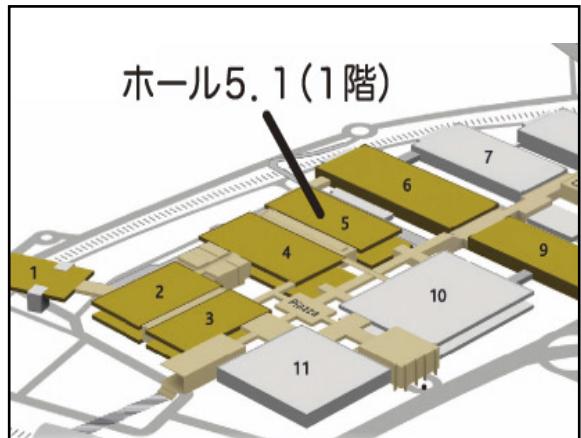
協賛：株式会社タムロン

◎展示概要

作品点数：116点

出展作家：73名(日本写真家協会会員を含む、
プロ、アマチュア写真家)

編集構成：公益社団法人日本写真家協会



◎プレス・ミーティング

フォトキナ開催初日にプレス・ミーティングと内覧会を行います。

日時：9月18日(火)12:00～13:00

場所：ケルンメッセ内 ホール5. 1 「生きる －Post-TSUNAMI－」写真展会場

■写真展「生きる」について

被災から一年を迎える2012年3月から、東京と、被災地である宮城県仙台市で開催された写真展。展示構成は「被災」「ふるさと」「生きる」の3部構成からなっています。

第一部「被災」は、被災地に居住する人でなければ撮れない生きしい現実を捉えた、今までメディアに出てこなかった、津波の恐ろしさを伝える記録を中心に構成しました。

第二部「ふるさと」は、震災前の東北の風土に支えられた姿を記録した写真で構成しています。復興すべき“ふるさと”の姿を、鑑賞者はここで知ることができます。写真は、過去に写された写真を集めたというだけではなく、展示した多くの写真そのものが被災した写真であるという重要な事実があります。それらは、津波にさらわれ漂流していた箱から回収されたネガやポジフィルムからプリントされたものです。

第三部「生きる」は、この写真展の核となる部分です。被災から一年、人々は困難な状況に耐え、日常を取り戻そうと立ち上がり、懸命に日々を送っています。それらの営みが「生きる」“Ikiru”ということであり、写真家達はこれらの人々の暮らしに迫り、その姿を撮影、記録、発表することで社会に貢献することを願っています。

- ・東京展： 2012年3月2日（金）～15日（木） 富士フォトギャラリー新宿
- ・仙台展： 2012年3月27日（火）～4月8日（日） 仙台市博物館ギャラリー

■日本写真家協会とは

公益社団法人日本写真家協会（Japan Professional Photographers Society 略称JPS）は、1950年に創立しました。協会はわが国の代表的な写真家1,700名を擁する組織で、写真家の職能と地位の確立、著作権法の改正運動と啓発活動、公募写真展の開催並びに出版、写真の歴史展や歴史書の出版、写真技術に関する研究とセミナーの開催、写真教育、新進写真家の発掘、写真技術・文化発展に貢献する個人や団体の顕彰など、様々な事業活動を展開しています。

さらに写真美術館の設立を推進、写真原板を保存する「日本写真保存センター」（アーカイブ）の創設に向けての調査活動など、わが国の写真文化の発展に寄与する事業活動を積極的に行ってています。

会長：田沼 武能

正会員：1,691名 賛助会員：53社 名誉会員：14名

所在地：東京都千代田区一番町25番地 JCIIビル303

これまでに催した主な写真展・出版

1960年「ここにあなたは住んでいる」展 写真集『東京』朝日新聞社（61年）

1962年「女—その生きる喜び」展

1968年「写真100年—日本人による写真表現の歴史展」『日本写真史1840～1945』平凡社（71年）

『A Century of Japanese Photography』PANTHEON New York（80年）

1975年「日本現代写真展—終戦から昭和45年まで」『日本現代写真史 1945～1970』
平凡社（77年）

1995年「戦後50年—日本現代写真史『記録・創造する眼』」『日本現代写真史 1945
～1995』平凡社（2000年）

2000年「1000人の写真家が撮る The Heart of Japan」展『光の中の日本』光村印刷

2005年「日本のこども60年—21,900日のドラマ」展『日本のこども60年』新潮社

2010年「おんな—立ち止まらない女性たち」展 『おんな』朝日新聞出版

2012年「生きる—東日本大震災から1年」展 『生きる』新潮社

■フォトキナについて

フォトキナは、ドイツ・ケルン市の「ケルンメッセ」で2年に1度開催される世界最大のカメラ・写真機材をはじめとした映像関連総合見本市。

今回は9月18日～9月23日に開催。世界40カ国以上から約1,200社が出展を予定している。

前回の「フォトキナ2010」には160カ国から18万人以上が訪れた。（ケルンメッセ発表） <http://www.koelnmesse.jp/photokina/>

■写真展の詳細につきましては、国内記者発表を9月3日午前11時よりJCIIビル6階会議室で行います。期日間近かになりましたらお知らせいたします。

以上

〈お問い合わせ〉

公益社団法人 日本写真家協会

102-0082 東京都千代田区一番町25 JCIIビル

TEL 03-3265-7451 FAX 03-3265-7460

E-mail info@jps.gr.jp

<http://www.jps.gr.jp>